

3年

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
1	4月	【内容項目を限定しない】 1 道徳の学習を始めよう	道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1年間の道徳科の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことは、何か考える。 1 中学2年のときの道徳の学習を振り返る。 ○中学2年の学習で、心に残っていることを「まなびの記録」に書きましょう。 2 教科書6～11ページを読んで、これからの道徳授業の見通しをもつ。 ○教科書8・9ページを読み、自分が大切だと思うキーワードを22の中から五つ選びましょう。付箋に書き、それを四つの視点に分類して、気づいたことを発表しましょう。 ◎この1年間で、特に考えていきたい、学んでいきたい、もっと伸ばしていきたいと思うキーワードを「まなびの記録」に書き、それを選んだ理由をグループで紹介し合いましょう。 ○教科書10・11ページの「道徳 道案内」を読んで、1年間の学習のまとめりやテーマを確認しましょう。
2	4月	【A(3)向上心、個性の伸長】 2 がんばれ おまえ	好きな少女の前で、本当の自分をさらけ出せないと悩む少年の物語を通して、「自分」を見つめさせ、かけがえのない自分を肯定的に捉え、充実した生き方をしていこうとする心情を育てる。	自分を見つめる。 1 これまでの自分を振り返る。 2 「がんばれ おまえ」を読んで考える。 ○「放課後にみんなと別れて一人になると、ぐったりと疲れ切って」しまう「少年」は、どんな思いを抱えているのでしょうか。 ◎「がんばれ——。／オレたち。」という言葉には、「少年」のどんな思いが込められているのでしょうか。 ○自分を見つめましょう。
3	4月	【A(2)節度、節制】 3 「こち亀」は、四十年間休みなし	漫画家・秋本治さんが「時間術」について書いた文章を通して、望ましい生活習慣がもたらすものとは何かを考えさせ、よりよい生活習慣を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	望ましい生活習慣がもたらすものとは、何か考える。 1 自分自身の生活習慣を振り返る。 2 『「こち亀」は、四十年間休みなし』を読んで考える。 ○教科書20ページの「❶ 普段の時間の使い方」に、今の自分の1日の過ごし方を記入しましょう。 ○秋本さんの「時間術」の中で、どの部分が印象に残りましたか。理由と共に発表しましょう。 ◎人には、わかっていてもできないことがあります。その中で、秋本さんが「時間術」の中で考えたことは、どんなことか考える。
4	5月	【B(8)友情、信頼】 4 私がピンク色のキャップをかぶるわけ	水泳の全国大会を目指す生徒とそのライバルとの交流を描いた生徒作品を通して、友達とはどんな存在かを考えさせ、互いに高め合うことのできるような人間関係を築いていこうとする心情を育てる。	友達とは、どんな存在なのか考える。 1 「友達」や「親友」の意味について共通理解する。 2 「私がピンク色のキャップをかぶるわけ」を読んで考える。 ○Mがレースに出てこなくなったときの「私」の心の中を想像しましょう。 ◎「私」は、どんな思いで、Mのことを、「大切な友だった。」というのでしょうか。 ○友達とは、どのような存在なのでしょう。
6	5月	【B(7)礼儀】 5 礼儀正しさとは	礼儀正しい言葉遣いやしぐさを書き出したり、柔道・大野将平選手のオリンピックでのエピソードを読んだりすることを通して、礼儀正しさは、人に何を伝えるかを考えさせ、礼儀に込められた相手を尊重する心を大切に、その礼儀を表そうとする心情を育てる。	礼儀正しさは、人に何を伝えるのか考える。 1 日常生活にある「礼儀正しい姿」を、マップに書き出し、思い起こす。 2 「礼儀正しさとは」を読んで考える。 ○図に書き出したことをもとに、「礼儀正しい姿」とは、どのようなものかについて、話し合いましょう。 ○勝利の後、表情を変えなかった大野選手は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ◎「礼儀正しい姿」は、相手や周りの人に、どんなことを伝えるのでしょうか。
7	5月	【D(19)生命の尊さ】 6 「リクエスト食」に込められた思い	「リクエスト食」に取り組むホスピスの話を通して、命を大切にすることはどういうことかを考えさせ、かけがえのない命を大切にしようとする心情を育てる。	命を大切にすることは、どういうことか考える。 1 ホスピスでの取り組みを知り、人としての尊厳や生きがいについて考えることを共有する。 2 『「リクエスト食」に込められた思い』を読んで考える。 ○大谷さんが「リクエスト食」を大切にしているのは、どんな思いからでしょう。 ○池永さんが、「『私はあなたのことを大切に思っている。』という思いを、それぞれの立場で患者さんに伝えることが大切です。」と言うのは、どんな考えからでしょう。 ◎命を大切にすることは、どういうことでしょう。
8	6月	【C(11)公正、公平、社会正義】 7 小さな出来事	自分が行った不公正な振る舞いを回想する人物を描いた魯迅の小説を通して、人々のどんな考え方が公正な社会を作るのかを考えさせ、正義と公正さを重んじる心情を育てる。	公正な社会をつくるのは、人々のどんな考え方が考える。 1 公正、公平に行動できなかった経験を振り返る。 2 「小さな出来事」を読んで考える。 ○「なんともないよ。やってくれ。」と言ったとき、「私」は、どんな考えだったのでしょうか。 ◎「私」が、車夫の後ろ姿を、急に大きくなったように感じたのは、どうしてでしょう。 ○公正な社会をつくるのは、人々のどんな考え方でしょ。
9	6月	【A(1)自主、自律、自由と責任】 8 三年目の「ごめんね」	修学旅行中、周囲になじめない同級生に一度は声をかけ、いっしょに行動し始めたものの、友人の目を気にして声をかけるのをやめた主人公の姿を通して、自分で考え、誠実に行動することはどうして大切なのかについて考えさせ、誠実で責任ある行動を取ろうとする判断力を育てる。	自分で考え誠実に行動することは、どうして大切なのか考える。 1 友達との出来事で、何年たっても忘れられない経験を振り返る。 2 「三年目の『ごめんね』」を読んで考える。 ○「私」は、どんな思いで「あのときは、ごめんね。」と言ったのでしょうか。 ◎「あのときはうれしかった。ありがとう。」と言う伊藤さんを見て、「私」は、どんなことを思ったでしょう。 ○自分で考え誠実に行動することは、どうして大切なのでしょうか。
10	6月	【B(9)相互理解、寛容】 9 アイツとオレ(まなびをプラス)	対照的な性格の二人の生徒の姿を描いた漫画を通して、他者とわかり合うために必要なことは何かを考えさせ、他者と相互に理解し合い、高め合おうとする心情を育てる。	他者とわかり合うために必要なことは、何か考える。 1 自分のことを理解してもらえた・理解してもらえなかったと実感した経験を想起する。 2 「アイツとオレ」を読んで考える。 ○あなたがこれまでに、相手の意見を「素直に受け止められなかったな。」と思うのは、どんなときだったでしょう。 ○「アイツ」が、「オレ」から「いやみなやつだな。」と言われても、話を続けたのは、どうしてでしょう。 ◎「オレ」は「アイツ」から「だからこそわかるんだ。」と言われたとき、どんな気持ちになったでしょう。 ○人とわかり合うために必要なのは、どんな考えでしょう。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
11	6月	【C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実】 10 私たちの合唱祭	合唱祭の在り方についての解決策を検討することを通して、よりよい学校をつくるために大切なこととは何かを考えさせ、学級や学校の一員として、学校生活を充実させていこうとする実践意欲と態度を育てる。	よりよい学校をつくるために大切なことは、何か考える。 1 自分たちの学校のよさや学校行事のよいところについて考える。 2 「私たちの合唱祭」を読んで考える。 ○よりよい学校をつくっていくための合唱祭の在り方を、自分たちの経験も思い出しながら考えましょう。 ◎よりよい学校生活や校風をつくっていくためには、どのような考えが大切でしょう。
12	7月	【B(6)思いやり、感謝】 11 言葉が見つからないとき	末期がんの善さんと看護師さんたちとのやり取りが描かれた文章を通して、人が人を思うとは、どういうことかを考えさせ、多くの人々の善意により自分があることに感謝し、進んでそれに応えようとする心情を育てる。	人が人を思うとは、どういうことか考える。 1 親切にして相手を助けたり、思いやりに触れて助けられたりした経験がないかを振り返る。 2 「言葉が見つからないとき」を読んで考える。 ○「善さんの声は聞こえていますって、それだけは伝えてあげたい」という言葉は、どんな思いから出てきたのでしょうか。 ◎善さんが繰り返した、「うれしかった」という言葉には、どんな思いが籠もっているのでしょうか。 ○人が人を思うとは、どういうことでしょう。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
13	7月	【D(20)自然愛護】 12 タコをたどって見えるもの	身近な食材であるタコについての資料などを通して、自然を大切にしながら生活していくためにはどんな考えが必要かを考えさせ、自分たちの生活とつながっている自然環境を、進んで守っていこうとする実践意欲と態度を育てる。	自然を大切にしながら生活していくためには、どんな考えが必要か考える。 1 食材としてのタコが自分たちの生活でどのように使われているかを共有する。 2 「タコをたどって見えるもの」を読んで考える。 ○私たちの生活と、セネガルの自然環境のつながりは、どのようなものでしょう。 ◎私たちが自然環境を守りながら生きていくためには、どんな考えが大切なのでしょう。
○1学期を振り返った評価(4～7月) 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を具体的に挙げて、生徒が学習したことの意義や価値を実感し、生徒を勇気付ける評価をする。 ワークシートに記入させ、ここまでの授業の感想の書き込みや授業の発言の記録等を参照し、生徒が道徳的価値に対して自己を見つめ直しているか、広い視野から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。				
13	9月	【A(3)向上心、個性の伸長】 13 自分を輝かせるには	陸上選手の田中希実さんらの「自分を輝かせる言葉」を通して、自己を見つめ、個性をよりよい方向に伸ばして自分らしく生きるためのヒントを手に入れ、自己を向上させ、充実した生き方をしようとする実践意欲と態度を育てる。	自分を輝かせる言葉を通して、自己を見つめ、自分らしく生きるためのヒントを手に入れる。 1 (まなびの準備)自分を輝かせる言葉を探し、記入する。 2 「自分を輝かせるには」を読んで考える。 ○田中希実さんにとって、自分を輝かせる言葉との出会いは、どんな意味をもっていたでしょう。 ○教科書66ページ(まなびの準備)に書き留めたことを発表しましょう。 ◎友達の発表を聞いたり、教科書67ページから71ページの文章や資料を読んだりして、自分らしく生きるために、どんなヒントを得ることができましたか。
14	9月	【C(13)勤労】 14 働く姿から見えるのは？	水族館を動かしている、さまざまな職種に従事する人たちの仕事への思いを通して、一人一人のどんな働く姿勢が社会や組織を動かしているのかを考えさせ、将来、働くことを通して社会や組織に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	一人一人のどんな働く姿勢が、社会や組織を動かすのか考える。 1 例えば水族館(動物園やスーパーなどでも可)には、どんな種類の仕事があるか、予想する。 2 「働く姿から見えるのは？」を読んで考える。 ○❶から❷の人たちは、それぞれどんな思いで、水族館の仕事をしているのでしょうか。 ◎さまざまな思いで働いている人たちが、一つの水族館を動かしていけるのは、どうしてでしょう。 ○一人一人のどんな働く姿勢が、社会や組織を動かすのでしょうか。
15	9月	【D(21)感動、畏敬の念】 15 サグラダ・ファミリア―受け継がれていく思い	ガウディが設計したサグラダ・ファミリアの建設に携わる外尾さんの姿を通して、人は、どんなものに心を動かされるのかを考えさせ、時を超えてつながる思いや美しいもの、気高いものを感じる心を大切に作る心情を育てる。	人は、どんなものに心を動かされるのか考える。 1 サグラダ・ファミリアについて知る。 2 「サグラダ・ファミリア―受け継がれていく思い」を読んで考える。 ○外尾さんが、初めて「サグラダ・ファミリア」を見たときの思いを想像しましょう。 ◎あなたは、「永遠に続いていくものに心で連なっていく」とは、どんなことだと感じましたか。 ○人は、どんなものに心を動かされるのでしょうか。
16	9月	【D(19)生命の尊さ】 16 「きみは赤ちゃん」より	出産を経た筆者が、生まれてきた子への思いをつづった文章を通して、命について考えさせ、「産む」ことと「生まれる」ことから、かけがえのない命を尊重する心情を育てる。	命について、考えよう。 1 教師が、自分自身が生まれたときのエピソードを語る。 2 「『きみは赤ちゃん』より」を読んで考える。 ◎「わたし」の、「わたしはきみに会うために生まれてきたんじゃないか」という言葉の根底にあるのは、どんな思いでしょう。 ○あなたは、命について、どんなことを考えましたか。
17	10月	【C(10)遵法精神、公德心】 17 漫画泥棒	漫画の紙面をSNS上で紹介しようと思っていた「私」が映画の無断投稿について考える話を通して、他者の権利を守るために大切なのはどんなことかを考えさせ、自他の権利を大切にし、規律ある社会の実現を目指す判断力を育てる。	他者の権利を守るために大切なのは、どんなことか考える。 1 映画館にある「NO MORE映画泥棒」のCMやポスターを目にしたことがあるか尋ねる。 2 「漫画泥棒」を読んで考える。 ○「作品や、作品を作った人の大事なもの」とは、何でしょう。 ○「漫画泥棒！」という声が響いたときの、「私」の心の中を想像しましょう。 ◎他者の権利を守るために大切なのは、どんなことでしょう。
18	10月	【A(1)自主、自律、自由と責任】 18 インターネットの中の社会で(まなびをプラス)	SNS上の「炎上」を扱った教材を通して、インターネットで人々がつながる社会を生きるためには、どんな考え方が必要かを考えさせ、自律を重んじ、自分の言動に責任をもとうとする実践意欲と態度を育てる。	インターネットで人々がつながる社会を生きるためには、どんな考え方が必要か考える。 1 インターネット上での書き込みに関わる経験について振り返る。 2 「インターネットの中の社会で」を読んで考える。 ○Tさんは、どんな気持ちで最初の投稿をしたのでしょうか。 ○Kさんは、Tさんの投稿にコメントを送ったとき、どんなことを考えていたでしょう。また、他の人のコメントを読んでいるとき、どんなことを考えていたでしょう。 ◎このようなことが起こる背景には、人々のどんな心があるのでしょうか。 ○インターネットで人々がつながる社会をよりよく生きていくためには、どんな考え方が必要でしょう。
19	10月	【C(14)家族愛、家庭生活の充実】 19 家族って？ 家庭って？	さまざまな家族の形を知ることを通して、家族とはどのようなものかを考えさせ、自分なりの理想の家族を思い描きながら、よりよい家庭生活を築こうとする心情を育てる。	家族とは、どのようなものか考える。 1 「家族」に対するイメージを出し合う。 2 「家族って？ 家庭って？」を読んで考える。 ○あなたが考える理想の家族とは、どのようなものでしょう。 ○あなたが考える家庭の役割とは、どのようなものでしょう。 ◎家族とは、どのようなものだと思いますか。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
20	10月	【C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】 20 好いとっちゃん、博多	郷土を愛し、その発展に尽力した西島伊三雄さんの思いや願いについて書かれた文章を通して、郷土を愛する心について考えさせ、地域社会の一員として郷土の発展に努めようとする心情を育てる。	郷土を愛する心について、考えよう。 1 自分の故郷の伝統や文化について振り返る。 2 「好いとっちゃん、博多」を読んで考える。 ○西島さんが、「故郷に恩返しをしたい。」と思うようになったのは、どんな思いからでしょう。 ◎西島さんがつなごうとした「たすき」とは、何でしょう。 ○郷土を愛する心について、考えましょう。
21	11月	【C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】 21 障子あかり	照明デザイナーの石井幹子さんが日本の光文化について語った文章を通して、日本の文化を知り、継承することの意味を考えさせ、優れた伝統と新しい文化を創造していこうとする心情を育てる。	日本の文化を知り、継承することの意味を考えよう。 1 日本の家屋特有だと思うものを出し合う。 2 「障子あかり」を読んで考える。 ○「私」は、ルイ・ルポア氏に、どんな思いを込めて、日本建築の採光のしかたを話したのでしょうか。 ◎日本の光文化を継承し、発信していきたいと願う「私」の思いの源とは、どのようなものでしょう。 ○日本の文化を知り、継承することの意味を考えましょう。
22	11月	【C(12)社会参画、公共の精神】 22 一票を投じることの意味	選挙に関心をもち始めた生徒を描いた物語と、選挙の意味について書かれた説明文を通して、よりよい社会を実現するために大切なことは何かについて考えさせ、社会の問題に目を向け、社会参画への意識を高めようとする実践意欲と態度を育てる。	よりよい社会を実現するために大切なことは、何か考える。 1 自分が18歳になったら選挙に行くかどうか、考えを出し合う。 2 「一票を投じることの意味」を読んで考える。 ◎「私」が、投票できるようになるのが待ち遠しくなったのは、どんなことを考えたからでしょう。 ○投票できるようになるまでの3年間、あなたは、どんなことがしたいですか。 ○よりよい社会を実現するために大切なことは、何でしょう。
23	11月	【D(22)よりよく生きる喜び】 23 足袋の季節	おばあさんのつり銭をごまかし、それを償うことができなかった後悔の念を語る随筆を通して、人がもつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について考えさせ、自分の弱さと向き合い、誇りをもって生きようとする心情を育てる。	人がもつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について、考えよう。 1 誰もがもっている弱さや醜さについて、自分の生活を振り返って考える。 2 「足袋の季節」を読んで考える。 ○流れてゆく籠を見て、「泣けて泣けて、どうしようもなかった」とき、「私」は、どんなことを思っていたと思いますか。 ◎「あのおばあさんが私にくれた心を、今度は、私が誰かに差しあげなければならない」と思う、「私」の心の中を想像しましょう。 ○人がもつ弱さや醜さを乗り越えようとする力とは、どんな力だと思いますか。
24	11月	【A(4)希望と勇気、克己と強い意志】 24 希望のカレンダー	「希望学」を研究している筆者が、東日本大震災後、被災地にカレンダーを届けたエピソードを通して、「希望」は、私たちにどんな力を与えるのかについて考えさせ、人間としてよりよく生きるために希望の価値を見いだそうとする判断力を育てる。	「希望」は、私たちに、どんな力を与えるのか考える。 1 カレンダーを普段どのように使っているか振り返る。 2 「希望のカレンダー」を読んで考える。 ○あなたは、「希望」とは、どのようなものだと思っているでしょう。 ○被災した方々にとって、玄田さんが届けたカレンダーは、どんな役目を果たしたのでしょうか。 ◎「希望」とは、どのようなものでしょう。 ○「希望」は私たちに、どんな力を与えようと思いますか。
25	12月	【C(11)公正、公平、社会正義】 25 ぼくの物語 あなたの物語	黒人作家ジュリアス・レスターの人種差別問題についてのメッセージを通して、差別や偏見のない社会を実現するために大切なことは何かについて考えさせ、正義を重んじ、差別や偏見をなくすための判断力を育てる。	差別や偏見のない社会を実現するために大切なことは、何か考える。 1 社会に存在する差別や偏見について考え、それについての疑問や考えを出し合う。 2 「ぼくの物語 あなたの物語」を読んで考える。 ○「私は、いい場所に住んでいるから、あなたたちより上だ。」などの幾つかの例を、「ぼく」が「本当の物語」ではないといっているのは、どんな考えからでしょう。 ◎「人種や肌の色で、人を判断しないことにする。」という「ぼく」の言葉には、どんな思いが込められているでしょう。 ○差別や偏見のない社会を実現するために大切なことは、何でしょう。
26	12月	【C(11)公正、公平、社会正義】 26 あってはならない違い	生活の中にある「さまざまな違い」を通して、「あってはならない違い」をなくすためには、どんな考え方が大切なのかを考えさせ、公正、公平な考え方をもち、よりよい社会をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	「あってはならない違い」をなくすためには、どんな考え方が大切なのか考える。 1 身近な生活や社会において「これは公平か考えるか」と疑問をもったことについて出し合う。 2 「あってはならない違い」を読んで考える。 ○次の❶から❸の「違い」は、「あつてよい違い」、「あってはならない違い」の、どちらでしょうか。それとも「どちらともいえない」でしょうか。グループで話し合しましょう。 ○「あつてよい違い」と「あってはならない違い」には、どんな違いがあるでしょう。 ◎あなたが考える「あってはならない違い」とは、どのようなものでしょう。また、その「違い」をなくすためには、どうすればよいのでしょうか。
27	12月	【B(9)相互理解、寛容】 27 ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞	見えない人と楽しむ美術鑑賞について書かれた文章を通して、社会で他者と共に生きていくためにはどんなことが大切かを考えさせ、人には、それぞれの個性に根ざしたものの見方や考え方があることを理解し、互いの個性を尊重しながらよりよい社会を築いていこうとする実践意欲と態度を育てる。	社会で他者と共に生きていくためには、どんなことが大切なのか考える。 1 「共生」という言葉に対する自分のイメージを明らかにする。 2 「ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞」を読んで考える。 ○伊藤さんは、ソーシャル・ビューのどんなところに、おもしろさを感じたのでしょうか。 ◎一人一人の違いが生きる社会には、どんなよさがあるでしょう。
○2学期を振り返った評価(9～12月) 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を具体的に挙げて、生徒が学習したことの意義や価値を実感し、生徒を勇気付ける評価をする。 ワークシートに記入させ、ここまでの授業の感想の書き込みや授業の発言の記録等を参照し、生徒が道徳的価値に対して自己を見つめ直しているか、広い視野から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。				

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
26	1月	【A(5)真理の探究、創造】 28 鉄腕アトムをつくりたい——人工知能研究は人間探究	人工知能研究にける筆者の経験や思いをつづった文章を通して、真理を探究する心について考えさせ、真理や真実を求め、好奇心をもって探究し続ける心情を育てる。	真理を探究する心について、考えよう。 1 「人工知能」について意見交換をする。 2 「鉄腕アトムをつくりたい——人工知能研究は人間探究」を読んで考える。 ○松原さんが、人工知能を研究するのは、どうしてでしょう。 ◎「知的好奇心」や「知的欲求」とは、どんな心でしょう。
27	1月	【B(9)相互理解、寛容】 29 恩讐の彼方に	贖罪のために難事業に取り組む僧と、彼に復讐を企てる若者との葛藤を描いた小説を通して、寛容の心とはどんな心かについて考えさせ、人間のもつ醜さを乗り越え、「許す」ことの難しさを理解しようとする心情を育てる。	了海と実之助、それぞれの人物の視点を通して、人の心のありようについて、考えよう。 寛容の心とは、どんな心か考える。 1 誰かを許した経験や、許せなかった経験を振り返る。 2 「恩讐の彼方に」を読んで考える。 ○了海を討とうと洞窟に入っていた実之助が、そこで敵を討たなかったのは、どんな思いからでしょう。 ◎実之助が、父の敵である了海の手を取り、「全てを忘れ、ただただ感激の涙を流し合」うことができたのは、どうしてでしょう。 ○寛容の心とは、どんな心でしょう。
28	1月	【D(22)よりよく生きる喜び】 29 恩讐の彼方に	贖罪のために難事業に取り組む僧と、彼に復讐を企てる若者との葛藤を描いた小説を通して、自分の弱さに向き合うとはどういうことかを考えさせ、人間がもつ、苦しみや良心の責めと向き合いながら生きようとする心情を育てる。	了海と実之助、それぞれの人物の視点を通して、人の心のありようについて、考えよう。 自分の弱さに向き合うとは、どういうことか考える。 1 自分の弱さを感じた経験を振り返る。 2 「恩讐の彼方に」を読んで考える。 ○了海は、どんな思いでつちを振るい続けたのでしょうか。 ◎了海と実之助が、「全てを忘れ、ただただ感激の涙を流し合った。」とき、二人はそれぞれ、どんな思いだったでしょう。 ○自分の弱さに向き合うとは、どういうことでしょう。
29	1月	【C(18)国際理解、国際貢献】 30 希望の義足	ルワンダの内戦で負傷した人々に義足を提供するプロジェクトを立ち上げた吉田真美さんらの活動について書かれた文章を通して、他国の人と関わりながら生きていくのに大切なことは何かを考えさせ、他国の人々を尊重し、国際貢献に努めようとする実践意欲や態度を育てる。	他国の人と関わりながら生きていくのに大切なことは、何か考える。 1 自分たちが知っている、国際協力の分野で活躍している日本人について挙げる。 2 「希望の義足」を読んで考える。 ○真美さんが、ルワンダの人々のプライドのようなものを感じたときに気づいた自分の「甘さ」とは、どのような考えでしょう。 ◎真美さんは、どんな考えでパラリンピックにルワンダ代表を送りたいと思ったのでしょうか。 ○他国の人と関わりながら生きていくのに大切なことは、何でしょう。
30	2月	【A(4)希望と勇気、克己と強い意志】 31 私の再出発	78歳で夜間学級に入学し、81歳で卒業した後も学び続けようと決意する見目律子さんの作文を通して、自分を高めていくことについて考えさせ、目標をもって学び、困難を乗り越えて、よりよく生きていくとする実践意欲と態度を育てる。	自分を高めていくことについて、考えよう。 1 自分は何のために学校に通っているか、考える。 2 「私の再出発」を読んで考える。 ◎見目さんは、どんな思いで夜間学級に入学し、学び続けたのでしょうか。 ○あなたは、どんな目標に向かって学んでいきたいですか。 ○自分を高めていくことについて、考えましょう。

回	月	内容項目・教材名	ねらい	学習活動
31	2月	【A(5)真理の探究、創造】 32 「学び」の本質を探ろう	教科書に示された九つの問いをヒントに、他者と語り合うことを通して「学び」の本質を考えさせ、「学び」を探究することで人生を切り拓いて生きていこうとする判断力を育てる。	「学び」の本質について友達といっしょに考え、自分の生き方を豊かにすることになげよう。 1 学ぶことについて、普段どのように思っているかを出し合う。 2 「『学び』の本質を探ろう」を読んで考える。 ○「学び」とはどのようなものか、その本質を探ってみましょう。 ○「学び」の本質についてみんなで考えた結果、新たに発見したのは、どんなことでしょうか。 ◎今日、「学び」の本質を考えたことは、あなたのこれからの生活と、どんなところがつながるでしょう。
32	2月	【D(19)生命の尊さ】 33 命と向き合う	生命誌研究者の中村桂子さんによる、命に関する文章を読み、話し合うことを通して、生命の尊さについて考えさせ、生命を尊ぶ実践意欲と態度を育てる。	命の尊さについて、考えよう。 1 「生命の尊さ」についての、これまでの学びを振り返る。 2 「命と向き合う」を読んで考える。 ○今までに、命について考えてきたことを思い出しながら、「なぜ命は大切なのか」について、話し合ひましょう。 ○生き物の三つの特徴を確かめたうえで、もう一度、「なぜ命は大切なのか」と「命を大切にするには、どうすればよいのか」について、話し合ひましょう。 ◎あなたが考える、「命のある間を思い切り生きるとは、どういうことでしょうか。
33	3月	【内容項目を限定しない】 34 一年間の学びを振り返ろう	これまでに記入した「まなびの記録」や「手紙～拝啓 十五の君へ～」の歌詞をもとに、1年間の道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	この1年間で学んだことを振り返ろう。 1 第1教材を見ながら、本時の目的を確認する。 2 「まなびの記録」を見返し、1年間の道徳の授業を振り返る。 ○この1年間で、特に心に残った学びを三つ挙げ、どうして心に残ったのかを書いてみましょう。 ○自分はこの1年間でどのように成長したか、今の自分を見つめてみましょう。 ◎これからの自分について考えましょう。 3 未来の自分に手紙を書く。 ○次の「手紙～拝啓 十五の君へ～」の歌詞に込められた思いを想像しながら、自分が大切にしていきたいと思ったことを、未来の自分に伝える手紙に書きましょう。
34	3月	【C(10)遵法精神、公德心】 二通の手紙	規則より自分の考えを優先させ、姉弟を終了時間後入園させてしまったために起こったトラブルを描いた物語を通して、規則は何のためにあるのかを考えさせ、きまりの意義を理解し、それを守って行動しようとする判断力を育てる。	規則は、何のためにあるのか考える。 1 社会や学校など、自分たちの周りにある規則について考える。 2 「二通の手紙」を読んで考える。 ○元さんが、規則を知っていながら姉弟を動物園の中に入れたのは、どんな思いからでしょう。 ◎元さんが、「この年になって初めて考えさせられ」たのは、どんなことだったのでしょうか。 ○(社会や学校などの)規則は、何のためにあるでしょう。
	○3学期を振り返った評価(1～3月) 生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を具体的に挙げて、生徒が学習したことの意味や価値を実感し、生徒を勇気付ける評価をする。 ワークシートに記入させ、ここまでの授業の感想の書き込みや授業の発言の記録等を参照し、生徒が道徳的価値に対して自己を見つめ直しているか、広い視野から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。			